

令和2年度第18回士別市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日時：令和2年10月29日

午前10:00～11:00

会場：庁議・来賓室

出席者 牧野市長、相山副市長、中峰教育長
中館総務部長、法邑市民自治部長、田中健康福祉部長、井出経済部長、
千葉建設水道部長、武田朝日支所長、鴻野生涯学習部長、三好副院長、加藤市立病院事務局長
士別地方消防事務組合柳消防長 青木総務課長 庶務 保健福祉センター 松ヶ平・川原

情報提供

1. 道の警戒ステージの引き上げについて（資料1～資料3）

10月28日の上川振興局主催によるWeb会議の情報共有（松ヶ平保健福祉センター所長）

資料3 R2.10.27現在の感染者 上川総合振興局管内で72人、内、旭川保健所管内45人

資料1 P1、P2の判断根拠～シルバーウイーク以降、道内では連日二桁の新規感染者が発生し、入院患者数は10月26日にはステージ2の基準である150人に達した。

年代別では30代以下が約7割。

石狩振興局管内の感染者数が7割を占めているものの、全道各地でリンクなしの新規感染が確認され、全道域での感染の広がりが見られる。このためステージ2への移行を全道域にした。

資料2 集中対策期間、内容について

期間 10月28日（水）～11月10日（火）

内容 特措法第24条第9項に基づく協力要請として、さらなる感染予防対策の実施強化策の2つの柱。

1. 感染者の増加を見越した相談診療検査体制の更なる整備
2. 普及啓発等の強化

協議事項

1. ステージ引き上げに伴う市の対応について

1) 小中学校の登校に関する取り扱いについて～

道教育委員会からの昨日の通知（教健体第654号、教健体第655号）では、高校は全道で警戒レベル2の対応としているが、小・中学校は市町村の判断により、適切に対応することとなっている。近隣市町村の状況は、名寄市は検討中、富良野市はレベル1として、マニュアルに基づいた対応すると聞いている。

士別市としては、この地域では感染者が出ていないので、地域の感染レベルはレベル1と捉え、学校の行動基準は今までと同様とし、さらに注意していくこととしたい。児童館も学校と情報共有しながらこれまで同様で運営していく。

道教委通知では、子どもに症状がなくても、その家族が風邪症状を呈している場合、子どもを出席させるべきではない旨記載があるが、通知のとおりに対応すると、誰も学校に出てこれなくなってしまう可能性があり、実情に合わせた対応や目安等、教育委員会において検討する。

2) 換気、暖房について

冬期間の換気については、この地域では難しく、先般、北大の林先生（NHK の web に出ている）が寒い季節のより良い換気方法などを紹介するなど、様々な説があるようであるが、保健所から道本庁にも確認していただいたが、厚生労働省の示した通りとの返答であるため、30分に1回の換気を推奨していかざるを得ないと判断する。

文化センターのホールでも換気を行っているが、かなり寒い。冬場にかけてはヒートショックの懸念もあるため、換気の方法も考える必要がある。サンライズホールはスモーク対応のため、強制換気システムが完備されており、20分で空気の入れ替えができています。

3) 出張・会合について

現段階では、国や道も外出自粛を求めているわけではないので、市としても特に自粛を要請する必要はないと判断する。感染防止対策を万全にして行っていただく必要がある。

宴会などにおいては最初と最後はマスクをしているが、名刺交換の時などはマスクをしていない姿が見受けられる。しっかり対策をし、積極的にマスクをしてお店を利用するよう、関係機関にしっかり周知し、会合などでも周知していただく。

どういう風な周知をするか、関係部署に協力要請するので協力願う。

2. 市の施設の取扱いについて

1) 市の貸し館の目安・及び感染防止対策について

11月2日庁議までに資料8の内容確認を行い、それを経て市民周知を行う。

各館の目安の設定及び周知については、関係部署に協力要請するので協力願う。

2) コロナ通知システム、COCOA の利用について

- ・ 6月の対策本部会議で活用を一度見送った経過があるが、第2ステージを機に積極的に導入していく。
- ・ COCOA はポスター掲示
- ・ 北海道コロナ通知システムの登録を各施設で行い、QRコード掲示
- ・ 公共施設はどこまで導入するかを整理し、周知する。
- ・ 公共施設以外の関係機関への周知については、関係部署に協力要請する。

3. その他

1) インフルエンザ予防接種について

インフルエンザ罹患者が、例年であれば4000人位いるところ、現状では数人になっている。

一部開業医、予防接種の予約をクローズする情報もあるが、市立病院では12月までインフルエンザ予防接種の枠があり、ワクチンの供給不足の話は今のところ聞いていない。

1日200人のインフルエンザワクチン接種者が来院したところや混んでいる医院があると聞いている。

2) 発熱時の医療機関の受診について

現状、発熱がある患者も状況を聞いた中で診察しているが、10月22日の保健所主催で行われた会議において、各医療機関から受診前には電話を必ずしてほしいと話されていたため、市民周知する。